

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社ゼンショーホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7550 URL <https://www.zensho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 小川 賢太郎
問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者執行役員 (氏名) 丹羽 清彦 (TEL) 03(6833)1600
グループ財務本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	846,760	19.8	58,094	55.2	55,246	55.9	34,102	56.3
2024年3月期第3四半期	706,803	22.0	37,441	156.4	35,426	67.6	21,821	96.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 45,097百万円(97.9%) 2024年3月期第3四半期 22,793百万円(69.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	209.89	—
2024年3月期第3四半期	141.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	827,597	248,142	29.9	1,388.02
2024年3月期	748,056	214,652	28.7	1,171.76

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 247,860百万円 2024年3月期 214,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	35.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,080,000	11.8	62,500	16.4	61,500	20.8	37,000	20.5	231.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	160,733,225株	2024年3月期	160,733,225株
2025年3月期3Q	4,069,066株	2024年3月期	4,068,435株
2025年3月期3Q	156,664,528株	2024年3月期3Q	151,697,910株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 「株式給付信託(BBT)」の信託財産として株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有する当社普通株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の4ページをご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	29,589.04	—	2,707,397.26	2,736,986.30
2025年3月期	—	2,707,397.26	—		
2025年3月期(予想)				2,692,602.74	5,400,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(企業結合等関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年12月31日)の連結業績は、売上高8,467億60百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益580億94百万円(同55.2%増)、経常利益552億46百万円(同55.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益341億2百万円(同56.3%増)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、ウクライナ情勢の長期化や、国内でのコメの価格高騰・輸入牛肉をはじめとする食材価格上昇の影響を受けました。一方で、人流の回復、経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善に伴い、個人消費の持ち直しが前期から引き続き見られました。

当社グループにおいても、外食関連事業を中心にご家族やグループでのご利用が増えるなど、需要の高まりが見られました。

このような状況の中、各報告セグメントの既存店売上高前年比は、「グローバルすき家」で109.1%、「グローバルはま寿司」で117.2%、「グローバルファストフード」で108.7%、「レストラン」で111.7%、「小売」で97.8%となりました。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、733店舗出店、472店舗退店した結果、15,370店舗(F C 8,405店舗含む)となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下の通りであります。なお、文中に記載している売上高は、外部顧客への売上高としております。

(グローバルすき家)

「グローバルすき家」の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,221億75百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は、202億5百万円(同42.7%増)となりました。

「すき家」は、日本国内と中国、東南アジア及び中南米に展開しており、ご家族やグループのお客様にもご利用いただけるよう、主力の牛丼を中心に安全で美味しい商品を手軽な価格で提供しております。

国内すき家では、「明太マヨチーズ牛丼」、「めかぶオクラ牛丼」、「月見すきやき牛丼」、「ねぎキムチ牛丼」、「白髪ねぎ牛丼」、「いくら丼」などを販売しました。

なお、当報告セグメントの当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、68店舗出店、85店舗退店した結果、2,615店舗(国内1,965店舗、海外650店舗)となりました。

(グローバルはま寿司)

「グローバルはま寿司」の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,801億91百万円(前年同期比25.9%増)、営業利益は、144億7百万円(同96.2%増)となりました。

「はま寿司」は、日本と中国などに展開しており、新鮮な海産物を使用した寿司に加え、麺類やデザート、ドリンクなどのサイドメニューも充実させており、お子様から大人まで楽しんでいただいております。

なお、当報告セグメントの当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、52店舗出店、1店舗退店した結果、718店舗(国内631店舗、海外87店舗)となりました。

(グローバルファストフード)

「グローバルファストフード」の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,361億39百万円(前年同期比38.6%増)、営業利益は、222億11百万円(同177.3%増)となりました。

「なか卯」は、和食ファストフードチェーンとして、親子丼・京風うどんを中心に、バラエティ豊かな商品をお手頃価格で提供しております。また、「AFC」、「Snowfox」、「Yo!」、「Bento」、「Sushi Circle」は、主として欧米で寿司等のテイクアウト商品を提供しております。そのほかに、ハンバーガーチェーンの「ロツテリア」、とんかつ専門店の「かつ庵」、武蔵野うどんの「久兵衛屋」、ハラル認証を取得したチキンライス専門店の「The Chicken Rice Shop」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、604店舗出店、373店舗退店した結果、10,703店舗(国内969店舗、海外9,734店舗、F C 8,328店舗含む)となりました。

(レストラン)

「レストラン」の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,156億79百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は、78億10百万円(同67.1%増)となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、季節感を重視したフェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準を高め、業績の向上に努めております。そのほかに、パスタ専門店の「ジョリーパスタ」、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、本格イタリアンレストランの「オリーブの丘」、和食レストランの「華屋与兵衛」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、6店舗出店、8店舗退店した結果、1,187店舗(国内1,186店舗、海外1店舗、FC77店舗含む)となりました。

(小売)

「小売」の当第3四半期連結累計期間の売上高は、577億25百万円(前年同期比2.7%減)、営業損失は、11億53百万円(前年同期は営業損失6億6百万円)となりました。

北関東中心に展開しているスーパーマーケット「マルヤ」、「ジョイフーズ」などのほか、青果販売等を行っている「ユナイテッドベジーズ」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、1店舗出店、5店舗退店した結果、128店舗となりました。

(本社・サポート)

「本社・サポート」の当第3四半期連結累計期間の売上高は、40億55百万円(前年同期比24.9%増)、営業損失は、36億13百万円(前年同期は営業利益41億36百万円)となりました。

食品の製造・加工を担う㈱GFF、物流機能を担う㈱グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する㈱グローバルテーブルサプライなどが当報告セグメントに含まれております。

(その他)

「その他」の当第3四半期連結累計期間の売上高は、307億94百万円(前年同期比12.0%増)、営業損失は、16億55百万円(前年同期は営業損失2億2百万円)となりました。

家庭用冷凍食品等の企画・開発・販売の㈱トロナジャパン、醤油やドレッシングなどの製造・販売を担う㈱サンプシ、介護事業を運営する㈱輝、玄米・精米の販売を行っている㈱ゼンショーライスなどが含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は8,275億97百万円となり、前連結会計年度末から795億41百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,794億55百万円となり、前連結会計年度末から460億51百万円増加いたしました。これは主に、有利子負債の増加等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,481億42百万円となり、前連結会計年度末から334億89百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日発表の2025年3月期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,171	84,311
売掛金	46,727	57,200
有価証券	19,907	11,925
商品及び製品	5,113	5,244
仕掛品	2,731	4,027
原材料及び貯蔵品	41,058	63,495
その他	27,112	36,357
貸倒引当金	△365	△412
流動資産合計	224,457	262,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	253,223	274,853
減価償却累計額	△147,862	△153,827
建物及び構築物（純額）	105,360	121,025
機械装置及び運搬具	26,085	30,266
減価償却累計額	△14,146	△15,845
機械装置及び運搬具（純額）	11,939	14,420
その他	220,917	250,842
減価償却累計額	△106,204	△119,652
その他（純額）	114,713	131,190
有形固定資産合計	232,013	266,636
無形固定資産		
商標権	201,169	210,070
のれん	13,616	12,562
その他	5,493	5,916
無形固定資産合計	220,279	228,549
投資その他の資産		
投資有価証券	2,162	1,546
差入保証金	38,074	39,386
その他	30,323	28,722
貸倒引当金	△105	△62
投資その他の資産合計	70,453	69,593
固定資産合計	522,746	564,778
繰延資産	852	668
資産合計	748,056	827,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,148	56,670
短期借入金	7,542	6,383
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	26,735	27,985
未払法人税等	14,966	10,325
契約負債	860	947
引当金	4,082	2,395
その他	73,368	83,677
流動負債合計	180,704	188,386
固定負債		
社債	15,000	35,000
長期借入金	224,369	234,760
引当金	378	480
退職給付に係る負債	274	287
資産除去債務	6,814	6,915
その他	105,862	113,625
固定負債合計	352,699	391,069
負債合計	533,403	579,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,497	47,497
資本剰余金	74,112	74,112
利益剰余金	85,461	107,909
自己株式	△13,715	△13,721
株主資本合計	193,355	215,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	46
繰延ヘッジ損益	158	△75
為替換算調整勘定	20,845	32,091
その他の包括利益累計額合計	21,029	32,062
非支配株主持分	267	281
純資産合計	214,652	248,142
負債純資産合計	748,056	827,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	706,803	846,760
売上原価	323,858	382,585
売上総利益	382,944	464,174
販売費及び一般管理費	345,502	406,079
営業利益	37,441	58,094
営業外収益		
受取利息	575	1,572
受取配当金	5	6
持分法による投資利益	5	20
その他	1,089	1,483
営業外収益合計	1,675	3,083
営業外費用		
支払利息	2,805	4,166
為替差損	1	104
その他	884	1,661
営業外費用合計	3,690	5,932
経常利益	35,426	55,246
特別利益		
受取補償金	—	608
退職給付制度終了益	179	—
その他	243	315
特別利益合計	422	923
特別損失		
固定資産除却損	1,276	1,815
その他	735	1,996
特別損失合計	2,011	3,812
税金等調整前四半期純利益	33,837	52,357
法人税、住民税及び事業税	12,550	17,095
法人税等調整額	△539	1,146
法人税等合計	12,010	18,241
四半期純利益	21,826	34,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,821	34,102

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	21,826	34,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	21
繰延ヘッジ損益	527	△233
退職給付に係る調整額	△58	—
為替換算調整勘定	412	11,176
持分法適用会社に対する持分相当額	20	18
その他の包括利益合計	966	10,982
四半期包括利益	22,793	45,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,784	45,082
非支配株主に係る四半期包括利益	9	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	グロー バル すき家	グロー バル はま寿司	グロー バル ファスト フード	レスト ラン	小売	本社・ サポート	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	199,140	143,118	170,431	104,077	59,298	3,247	679,314	27,488	706,803	—	706,803
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注) 4	208	6	14	112	394	265,151	265,887	8,618	274,506	△274,506	—
計	199,348	143,124	170,446	104,190	59,692	268,398	945,201	36,107	981,309	△274,506	706,803
セグメント利益 又は損失(△)	14,163	7,343	8,009	4,673	△606	4,136	37,720	△202	37,517	△75	37,441

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△75百万円は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。
5. 上記のセグメント情報は、「企業結合等関係」に記載した暫定的な会計処理の確定の内容を反映した後の金額としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「グローバルファストフード」において、第1四半期連結会計期間において(株)ロッテリア及びSushi CircleGastronomie GmbHを株式取得により連結子会社化したことに伴い、のれんがそれぞれ3,007百万円、565百万円増加しております。

なお、のれんの増加額は、「企業結合等関係」に記載した暫定的な会計処理の確定の内容を反映した後の金額としております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	グロー バル すき家	グロー バル はま寿司	グロー バル ファスト フード	レスト ラン	小売	本社・ サポート	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	222,175	180,191	236,139	115,679	57,725	4,055	815,965	30,794	846,760	—	846,760
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注) 4	225	0	10	99	581	303,810	304,727	11,243	315,970	△315,970	—
計	222,400	180,191	236,149	115,779	58,306	307,865	1,120,692	42,037	1,162,730	△315,970	846,760
セグメント利益 又は損失(△)	20,205	14,407	22,211	7,810	△1,153	△3,613	59,868	△1,655	58,212	△117	58,094

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△117百万円は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間の「のれんの償却額」は、「企業結合等関係」に記載した暫定的な会計処理の確定の内容を反映した後の金額としております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	26,358百万円	33,050百万円
のれんの償却額	1,324	1,106

(企業結合等関係)

2023年9月15日(みなし取得日2023年9月30日)に行われたSnowFox Topco Limited(現Wonderfield Topco Limited)との企業結合について、前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、前連結会計年度において会計処理を確定した結果、暫定的に算定されたのれんの金額89,561百万円は全額減少しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費は1,130百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は同額増加しております。